

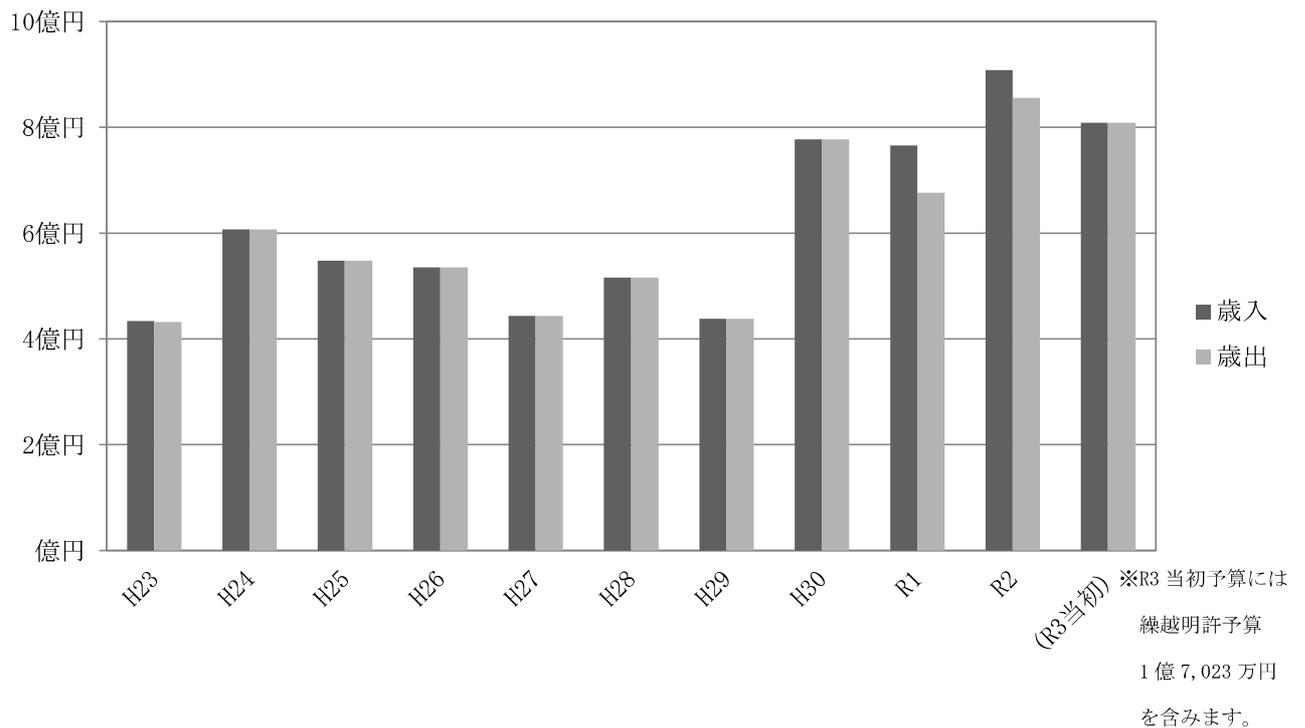
5 簡易水道特別会計

歳入では、年々減少傾向となっていました分担金及び使用料収入が対前年比 819 万円 (6.4%) 増加しています。これは、田口クリーンセンターと道の駅したらが新たに建築されたことや水道料金システムをベースに公共下水道と農業集落排水の料金徴収を統合したことが要因となっています。

また、田口地区を中心に配水管更新事業を行っており、国県支出金及び繰入金がそれぞれ、対前年比 846 万円 (△10.4%)、20,245 万円 (△7.3%) 減少していますが、町債は公営企業債が追加されたため対前年比 4,060 万円 (225.6%) 増加しました。その他、ダム建設工事に伴い田口地区導水管移設工事に関する公共補償などがあり、歳入全体では、繰越明許費を含み対前年比 1 億 4,232 万円 (18.6%) 増加しました。

歳出は、名倉・津具地区の配水管更新、田口浄水場自家発電設備設置、設楽ダム建設事業で水没する導水管布設事業により、全体では繰越明許費を含み対前年比 1 億 4,149 万円 (19.8%) 増加しました。

(1) 収支の推移



(2) 前年度との比較

	歳入	歳出	形式収支	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支	年度末基金残高
R2	9 億 813 万円	8 億 5,556 万円	5,257 万円	5,254 万円	3 万円	1 億 6,453 万円
R1	7 億 6,581 万円	6 億 7,652 万円	8,929 万円	8,925 万円	4 万円	1 億 3,047 万円

	最終予算額	歳出決算額	歳入決算内訳				
			分担金使用料	国県支出金	一般会繰入金	地方債	その他
簡易水道特別会計	1,080,292	855,565	136,388	81,330	254,630	58,600	377,185

簡易水道更新事業 697,731,780円（生活課）

【総括】

田口地区における水道管更新工事は、平成30年度より特定環境保全公共下水道事業（下水道事業）と同時施工する形で着手しました。工事は下水道事業の一部供用開始に合わせ順次進めております。田口地区の水道管は老朽化が進んでおり、工事にあたっては耐震性の高い高密度ポリエチレン管へ更新しています。

また、ダム建設工事に伴い水没する旧田口簡易水道の導水管においても、国が行っている付替県道設楽根羽線の道路改築工事の進捗に合わせて移設工事を行っています。

【実績成果】

1 配管更新延長

R 1	R 2	比較	備考
2,996m	4,486m	1,490m	R2 目標値：2,500m、 R2 実績：配水管更新工事（田口他）HPPE φ50～150

2 管路の耐震化率

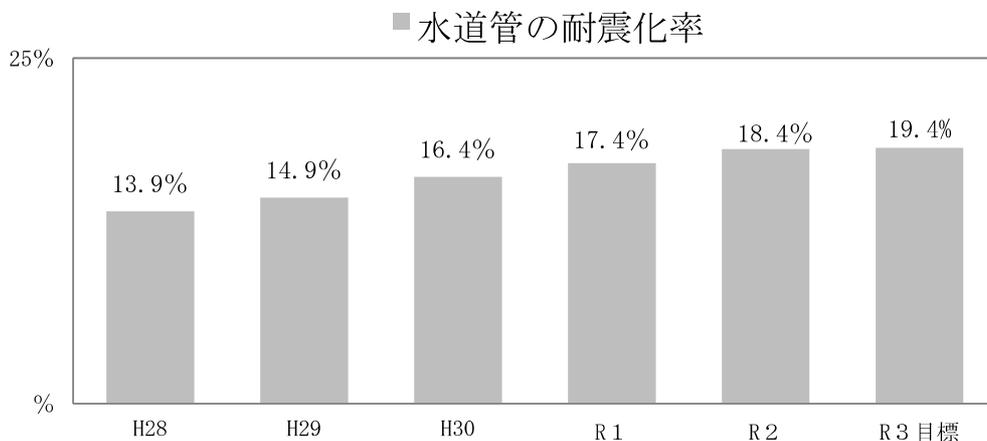
R 1	R 2	比較	備考
17.4%	18.4%	1.0%	（耐震管延長／管路総延長） R2・・・44.1km/239.0km=18.4% R3.3.31 目標値：18.5%

3 管路の耐震適合率

R 1	R 2	比較	備考
61.6%	62.5%	0.9%	（耐震適合性のある延長／管路総延長） R2・・・149.6km/239.0km=62.5% R3.3.31 目標値：62.6%

【主な指標】

町総合計画



簡易水道使用料 129,640,540円 (生活課)

[総括]

水道使用料は、令和元年10月から消費税が10%になり、料金収入が増加していますが、給水人口の減少による減額が多く、減少傾向となっています。

また、令和2年度から地方公営企業法に基づいた公営企業会計への移行事務が始まり、令和5年度末までに移行できるよう準備を進めています。併せて、経営戦略の策定も行っており、簡易水道の将来像を想定した施設の合理化や水道使用料の改正を視野に入れた方策を検討しています。

[実績成果]

	R 1	R 2	比較
給水人口	4,534人	4,450人	△ 84人
給水件数	2,576件	2,573件	△ 3件
水道使用料	126,455,490円	129,640,540円	3,185,050円

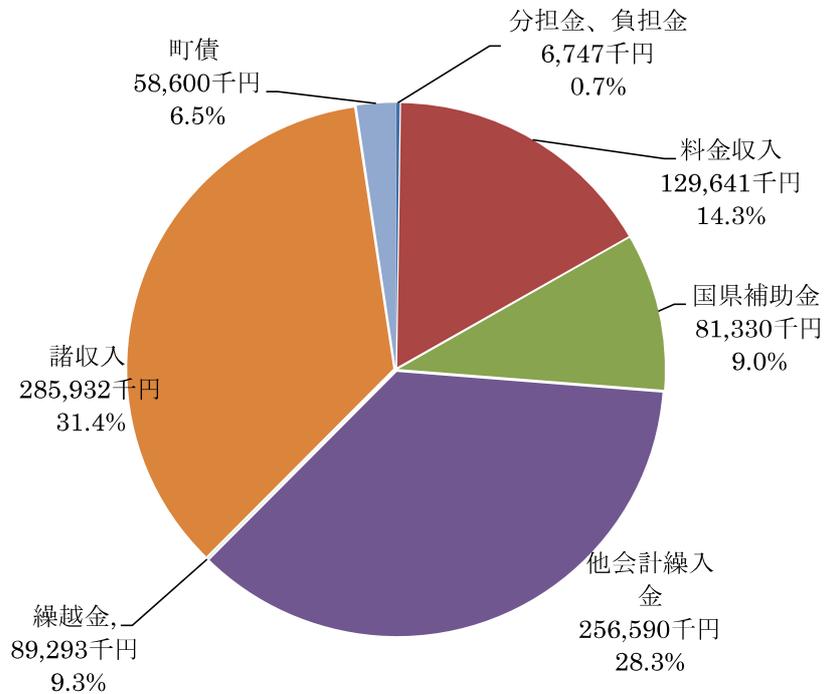
令和3年4月1日現在で、給水人口4,450人、給水件数2,573件となっており、令和元年度と比較し、給水人口△84人(前年度比△1.9%)、給水件数△3件(前年度比△0.1%)、水道使用料3,185,050円(前年度比2.4%)となりました。

水道使用料(約14%)、他会計繰入金(約28%)、諸収入(約31%)が大半を占めており、諸収入には導水管布設工事に対する公共補償額や消費税還付金が含まれています。

また、収納率は、98.8%(前年度比0.1%)、未収入額が1,574,960円となりました。

[主な指標]

歳入内訳



水道施設管理事業 102,403,487円 (生活課)

[総括]

水道管の漏水修繕の他、計装機器類の取替を実施しました。また、安全で安心な水道水供給のための各薬剤の購入を計画的に行うとともに、適正な浄水場等施設の維持管理に努めました。

また、長期停電時に対応できるよう田口浄水場に自家発電設備を設置しました。

[実績成果]

科目	R 1	R 2	比較
施設管理費(全体)	114,880,228円	102,403,487円	△12,476,741円
需用費(修繕費)	37,318,962円	42,568,748円	5,249,786円
需用費(消耗品費)	2,206,478円	2,787,757円	581,279円
需用費(光熱水費)	20,585,714円	19,584,270円	△1,001,444円
工事請負費	20,841,700円	10,414,690円	△10,427,010円
備品購入費	32,313円	770,660円	738,347円

前年度と比較し、施設管理費全体では前年度比 約1.2千万円の減額となりました。

主に、前年度に実施した水道管移設工事が減額の要因となっています。

[主な指標]

歳出内訳

